いわき民報
發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼發行印刷人 田原登

川徳に懲役四年
外十二名に三年半—一年
松本檢事から求刑

平市鍛冶町土建請負業川和徳一外十二名に係る殺人未遂の公判は二十一日午前十一時から地裁平支部で志村、磐狩、棚村三判事、松本檢事、伊藤（仙台）、飯澤（福島）増田（水戸）、門傳、永野、眞木、山野邊、秋元、市井の九辯護人立會いで開廷、各被告人の人定調べに次いで午前十一時半松本檢事から左の如く求刑があつた

川和徳一 懲役四年
小林政次郎 〃 三年六月
伊藤勇三 〃 三年
關口井亮 〃 二年六月
渡邊幸助 〃 二年六月
會川照雄 〃 二年
佐藤存 〃 三年
新妻富好 〃 二年
鹿俣愛次 〃 二年
馬上東二 〃 二年
宍戸幸夫 〃 二年
津田實 〃 一年
村上正 〃 一年

事件は佐川宅殴り込み

川和徳一外十二名の起訴内容は昭和二十二年五月中旬頃内郷町の元興行師佐川好男（當時四五）氏の子分三浦亭外數名と川徳の子分との間にいざこざがあつた際三浦を毆打した事が發端となり両者が對立して双方の子分數百名が衝突し重輕傷三名を出した事もありこの事に憤慨して同年五月十七日未明川徳ら子分六、七十名がトラック二台に分乘させて佐川宅に毆り込みを演じ佐川氏を氣絶させた上トラックで平市田町の耳鼻咽喉科鈴木正男醫師にかつぎ込んだが傷を負つていないので小林政次郎（當時三二）は出刄様のもので切りつけ全治三週間の傷害を與えたもの

この求刑に對し飯澤辯護人（福島）は當時福島、郡山の各勢力者が次々と擧げられたので平でもやらなくてはとの考えかゝ被告等がその對象とされそれで最も恐るべき殺人未遂という罪名で起訴されたものである、又起訴状の中に（被告人川和は川徳一家と稱して賭博の親分として又平市周邊の興行師の貸元として勢力を擴張し少なからずの子分を擁し又子分はいずれも一宿一飯の仁義を重んじてるものである）というカストリ文學式の字句が見られる、更に川和は常に喧事で物事を處理したのではなく相互扶助の意味で物事を解決したものであるとの辯論を行なつて午前中の公判を打切つた

原釜救難所建設へ
實現へ中央に陳情

小名濱海上保安部では相馬郡松川浦に同部の隷下として原釜救難所（ライフ・ボート・ステーション）を建設すべく二十二日現地の中村漁業協同組合菊地組合長ら代表者が海上保安部にくることになつているので業者側の意見をきいて同救難所の實現を期すべく中央に陳情を行うことになつている

保安部側の意向としては見張所と十五米ボート一隻分のレール式格納庫を地元が負擔すれば東北に二個所を選定することになつている同救難所を原釜にもつてこれる可能性が強いので小名濱—鹽釜の唯一の救難所としてぜひ實現したいというのがそのネライである

もし地元側が乘り氣ならば鵜尾崎燈台建設豫定位置にこれを作り十五米の大型港内艇（補助巡視船）を配置し海難が發生した場合小名濱海上保安部の指令で有效な救助作業を行うことが出來るわけで海事關係者から早くもこれが成否が注目されている

水飢饉の悩み解消
平二中 水道設備成る

去る四月鎌田山上に新築された平第二中學校では飲料水の不足から水筒持參で登校すると云つた悲慘な生活を續けて來たが此の程總工費六万円を投じて水道設備を完成させ水飢饉の惱みを解消させた、新設された水道設備は山麓の一角に簡易ろ過機を裝置、平市中學地内を流れる小川江筋から用水路を經河水を誘導ろ過機を通した水を動力ポンプで山上の貯水タンクに吸い上げタンクの上部に取付けられた滅菌器から常時滅菌液がタンク内部に注入されると云う仕組で保健所の水質檢査がＯＫとなれば直ちに學園内に給水される筈で、開校以來七カ月間水に飢えた苦しい生活を續けて來た生徒達の顏にも水の出る喜びがただよつている

教室は十九、教材完備
堂々たる新校舍
落成式を前に佐川校長語る

錦中學校の新校舍工費四百十余万円を投じ地元金成泰三氏請負の下に第一期工事は昨年竣工—第二期工事は今年七月末着工し完成を見たので錦町役場では二十三日町制施行記念日をトし官民有力者五百余名を招待し盛大なる祝賀落成式を擧行するが、新校舍は平家と二階建總教室は十九、外に職員室と校長室、家事室殊にモーターを据付け水利の便よく又防火的建築で他校には稀に見る文化的校舍である新校舍の落成に當り佐川校長の感想を叩いてみる『町の財政が不如意にも拘らず斯くの如き誂向きの校舍が首尾よく落成し盛大なる祝賀の式典を擧ぐるに至つた事は町理事者と町議を初め宮崎關係並に請負業者更に町民悉くの熱意ある協力が實を結んだものであり關係諸氏に對し滿腔の敬意と感謝の意を表する、而かも新校とは言え教材が完備し殊に優秀なピアノ一台が最近二十五万円で購入され全く異彩を放つている、此の上は職員生徒はこん然一体となつて民主教育の實を上げ一般の期待に添う可く努力を傾倒する覺悟である』と語つた

沈沒船引揚げに横槍
漁民の死活問題だ
小濱の關係者陳情書提出

植田町漁業協組理事豐田豐氏ら代表は去る十七日石城地方事務所に陳情書を提出、小濱附近海底から引揚げることになつている沈沒船の爆破作業に火藥を使用されては魚介類の繁殖に支障があり組合員百五十名の死活問題となるからその使用許可をしない様に訴えた、目下引揚準備が万端整つて火藥許可がおりるばかりになつていた矢先引揚げ者の茨城縣大津町秋山留吉（五三）氏は面喰つている

この沈沒船は日鳩丸（八七八屯）という貨物船で元、東京芝の日產汽船株式會社の所有だつたが六月ころシケをくらつて小濱海岸留泉六百米の海中に石炭千三百屯を積んだ儘海底の藻屑と消え、その後九月に日產保險會社の手から秋山氏が二十七万円の入札で拂下げを受け鐵、砲金等の金屬を得る爲引揚げることになつたもので一時、植田町の消防團の間ではこの沈沒船を無償で拂下げてもらうという話もあつた

當の秋山氏は『小濱地帶はヤキ磯（古磯）の爲、海藻、あわび等は自然に減少するもので吾々の今までの經驗から火藥を使用すれば新しい磯が出來るのだから却つて效果的だし音響によつて集まる魚もいる、ここだけで海底作業しているものでなく全國的に行つているものだから反對するのが變だ、この工事に難癖をつけ賠償金でも欲しいものともみられる』と語つている

石城地方事務所談 こうなつた以上、水產試驗場と實地調査の上早急に結論を出すが秋山氏は爆藥九十キロの使用許可の申請を出しており海中に寶を腐らしていることもどうかと思う

平二中で購賣部新設
利益金は體育用品購入費へ

平第二中學校では生徒會厚生部の事業の一環として學園內に日用、學用品等の購買部を開設、販賣、記帳、宣傳等の商業知識及び技術の養成を計ろうと此の程校舍の一隅に驛の賣店を眞似た、二坪程のスマートな賣店を新築、厚生部員の手による販賣經營に乘り出すことになつた、尚販賣によつて生ずる利潤はそつくり鬪器及び体育用品等の購入資金に廻される筈で厚生部では行く行くは子供銀行と共に共同組合式にしたいものと張切つている

留守家族親睦會結成
慰安座談會を開く

平市では愛の運動實施期間行事の一環として二十日午後一時から平一小に市内の未歸還者留守家族を集めて『留守家族慰安座談會』を開催、海外抑留同胞救出國民運動の經過報告、今後の引揚促進運動の方針等を協議の後、抑留同胞の急速なる完全救出並びに會員の親睦、情報の交換、相互扶助の觀念を昂揚する目的の下に『留守家族親睦會』を結成、會長佐藤巖（南町）副會長宍戸清一郎（磐城跡）岡井重司（仲間町）氏を選任、終つてナトコ映畫の觀賞を行ない午後四時有意義なる座談會の幕を閉じた

農產物品評會
入賞者決る
植田町主催

植田町の第一回農產物品評會は十八、十九の兩日に亘つて植田小學校講堂に於て開催されて審査の結果左の諸氏入賞—賞狀及び賞品が授與された

特等 知事賞 富岡光行（小豆江畑）一等永山登（ホウ連草仁井田）吉田實（白菜佐糠）水野富男（同岩間）高木直次（大豆江畑）高木正伯（柿江畑）鈴木章（人參東田）二等 鈴木二男（ホウ連草高倉）吉田稔（白菜佐糠）布施新太郎（同）富岡光行（玄米江畑）柳栗仲助（大豆小濱）吉田秀雄（人參小濱）水野兼吉（ネギ岩間）大谷三郎（大根小濱）三等 富岡千代松外二十名

遭難の大陽丸
無事に曳航

江名町中之作漁業吉田德好さん所有の第七大陽丸（四四トン）＝乘組員二十四名＝は十八日夜激浪のため茨城縣大津港沖で遭難、急報により同町中之作漁業吉田德太郎氏所有の海運丸（一六〇トン）外二艘が救助に出動、二十日午後四時半頃無事中之作港に曳航した

中學生三名
スリを働く

內鄕町大字宮內鄕第一中學校三年生三名（いずれも一五才）は二十日午前十時半頃平市四丁目佐藤衣類店內で買物中の平市揚土無職山部泰子（二四）さんの所持した手提鞄から現金二千六百円をスリ、現行犯で同日平市署に擧げられたなお三名の中湯澤某は去る八月から內鄕町で三件、湯本、平にそれぞれ一件の窃盜とを働き今度で六回目の窃盜常習者である

社長の詐欺

平市才槌小路五常醫產業株式會社社長高山弘（四九）は去る七月十二日額面二万四千円を七月十八日先附日附の常陽銀行平支店宛の不渡り小切手を振り出して、同會社の營業部主任中村義男こと鄭在出（三〇）に命じて、平市紺屋町二二理髮業松本喜一郎（三四）さん方にその小切手を持參させ松本さんにこの小切手が換金出來る樣に誤信せしめ之と引換えに金二万円を借り騙取した疑で手配中のところ二十日仙台市南警察署に逮捕されて二十一日平市署に身柄送檢された

二萬圓を詐取

錦町仲田無職新井章吉（三一）は去る六月中旬頃、勿來町酒井字入倉無職三浦隆治（四五）同山田三郎（四六）の兩氏から『材木を買つて拂う』からと、五千円宛計一万円を詐取したことがわかり二十一日勿來町署に檢擧された

天眼鏡

▲近頃毎晩のように停電があるのには市民もほと〳〵弱つている、此の前の土曜日など電燈がついたり消えたりその都度ローソクをつけたり消したりすること正に十回に及んだ處もあつた▲商店は商賣が出來ず家庭ではこのため小さな爭議が勃發したりその損害はなか〳〵大きい、照明を電燈に依存している現代の文化生活もこう毎晩の如く消されては神經衰弱患者が多くなりはしまいか▲配電當局は機械には故障がつきものだからと案外平氣でいるようだが、今少し檢査を嚴重にするとか何とか手の打ち方法がないものか、この停電に對し一片の釋明もないのには多くの市民は不平滿々である

天氣予報 二十一日

【今晩】南よりの風、曇勝ち一時しぐれもよう【明日】南のち北西の風、曇勝ち日中晴間も出るがおそくなつてしぐれもよう寒さ加わる

◇募集◇
寶くじ賣娘さん
年令十六才—二十五才
面接時毎日 午前八—九時
申込所
平市七丁目平細橋際（野地眼科跡）
伊藤秀郎

まくらめあみ講習會
十一月二十二、三日午前九時—午後三時、
會費 會員は二〇円、一般は五〇円、
會場 平市公會堂日本間 主催 むつみ會

二重コイルのマツダランプ
マツダ
明るい節約電球
ラジオ
モーター 販賣修理
變壓器
電氣工事迅速取付
長山電機商會
小名濱町本町五八
電話一六五番

一度のんだら
二度目も
ヤッパリ
50円・100円
慢性の胃腸に
飲みすぎに
食べすぎに
三式錠
各藥店でお求め下さい
代理店
平市田町
神谷藥局

賣店舖住宅
當方事情により至急讓渡す
場所平市大町 店舖四坪四疊八疊四疊二階八疊本床付 炊事場風呂場便所水道諸施設完備 建坪二十二坪 早い者勝 仲介斷
姓名在社

藤越の
商品まつり
11月25日→12月5日
もれなく景品差上ます
平市 銀座

福島縣史學會の發足

（下）　史談會會員　山名隆之

第七條、本會に左の役員をおきその任期は一年とする但し重任は妨げない。1、會長一名委員會で推擧する2、副會長二名委員會で推擧する3、委員若干名會員の互選による4、名擧會長及び顧問若干名委員會で推擧する

第八條、本會役員の職務分擔は次の通りとする1、會長　本會を代表し會務を統理する2、副會長　會長を補佐し、會長事故あるときは之に代る3、委員　委員會を構成し、本會の運營に當る4、顧門　本會を賛助指導する

第九條、本會の會議は總會臨時總會及び委員會として其開催は次の通りとする1役員總會　毎年一回開き、役員の決定及び會務の報告等を行う但し委員會が必要と認めた場合臨時總會を開くことが出來る2、委員會　隨時開き會務を協議する

第十條、本會の會則變更は總會に於て決定する

というわけである。成案としては或いはどうかと思われる點もあるかも知れないが、私どももそのような點に逢着するたび毎に『內容本位、實質主義でゆきましょうや』と談笑するのであった、いわばこの成案はその樣な談笑の所産であったかも知れぬのである

以上の審議の過程に於て氣のついたところを二三申し述べて置こう。會費は多い方がよいわけであるが、年額五百円程度やそれを割ったりすれば、一般の參加の上に支障を來す恐れもなしとしないというので、二百円に落着をみたのである。機關誌は年四回發行の豫定なので、あるいは、時にその分は別に支出を要することもあるかも知れないのである。その他の行事は何更のことであろう。今度の集會を以て、單なる準備會とすべきか、委員會とすべきか、又は總會とすべきかについてはしばらく討議が交わされたがお互いに多忙でもあり、一日も早く會の發足をすることが會の目的からいっても必要なので、徒らに法規上の原則に拘泥することなく、この機會に全部こしらえあげることが望ましいという結論を得て行われた次第である。依て縣史學會はすでに十一月五日を以て發足したものとご諒解をねがいたいとおもう。當日の出席者は全部委員となった。これも實質的にみてその方がよかろうというわけであった。その外に各方部から委員並びに顧問の推擧があり、私もせん越ながら當地方より、數名の方を推擧した。會長、副會長名譽會長もそれぞれ決定したが、これは顧問、委員の名と共に只今ここで私から發表することもなかろうとおもう近く史談會が開かれる筈であるから、その席上披露することに留める。『福島縣史學會』の名稱につき各種意見が出たが、より以上の名稱も出て來ないので當分この名稱によることにした。若し、素晴しい名稱の浮ばれた方は本會の飛躍のためお聞かせ下されば結構かと存する。尚、機關誌は來春三月に創刊號を發行することに內定した。原稿〆切は十二月末日、大、中、小の三種に分ち、大は四〇〇字詰用紙二〇枚、中は一〇枚、小は五枚の程度、大方の應募が期待されている。

當日は岩磐史學會の宮內氏をはじめ、會津縣南、縣北の各地域にわたり著名の人達が集まった。濱通りからは私だけのようであって大いに品が落ちた。このようにして、瞬く間に時が過ぎ、落つるに早い晩秋の夕日が帽子に深い影を作るころ、みなみな別れを惜しみつつ再會を約した。會の席上、持參の『飯野文書解說』をあちらこちらから購入していただいた。それにしても、私どものよき指導者であった猪俣先生の急逝は哀惜措きぬことである。各會の人達もあのなつかしい解說書を繰りひろげながら故先生の話にしばし立ち停ったことであった。先生が亡くなられたことは、いわき史談會にとっても將又これから成長しようとする、縣史學會にとっても大きな痛手となる、この大きな痛手を私どもは力を合わせて、償わねばならぬこととおもう

最後に私個人として、當日福島大學から賜った、數々の御好意、茶菓の好遇に對し厚く御禮申上げる。（十一月十一日）

簡易無線通信所
小名濱に設置本決り

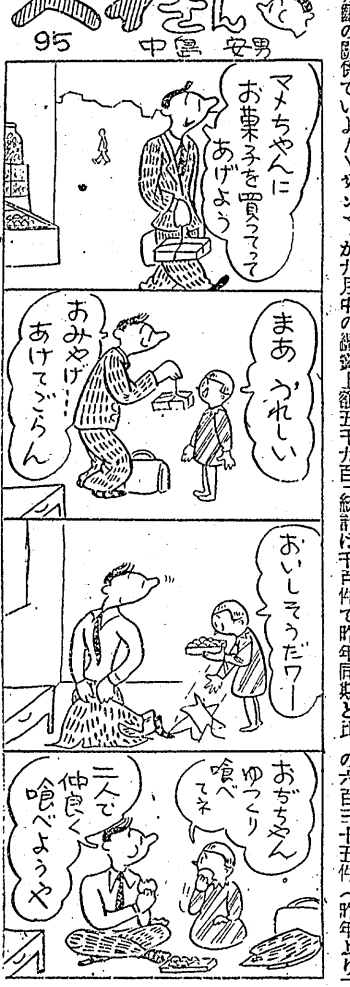
小名濱海上保安部では地元關係者の署名を得て海上保安廳へ陸上無線通信所の設置方を陳情中だったがこの程小名濱に簡易陸上無線通信所の設置が決定したと本廳から內報があった、この簡易無線通信所は所員六、七名の見込みでこれが出來上ると漁業無線は勿論、一般船舶の通信も洩れなくキャッチし貨物船の場合は入港直前に船名、トン數、所屬會社、積載量など事前に聽取出來ることになり商港又は避難港としての無線施設は完備することになる、このため二十三日ごろ第二管區海上保安本部から宇井通信課長が來小、敷地などについて現地視察することになっているが小名濱海上保安部では簡易無線通信所の設置を機會に本格的な施設をもって來るよう地元民の協力を望んでいる

サンマ群南下
後續は金華山沖へ

流石に續いたサンマ漁も主漁場が茨城、千葉兩縣沖合に移動している—小名濱町縣水產試驗場無線局に入った二十日迄の漁況によると主漁場は銚子、那珂湊を中心とした四、五十マイル沖合でサンマ群の尖端は更に南へ伸びている、然しサンマ群の後續は金華山沖まで續いているので今後まだ本縣沖は有望で南の漁場は潮流の關係で漁獲が大きいため漁船群が集っている、然し月齡の關係でいよ〳〵サンマ電氣棒受には苦手な月夜廻りに入るため朝夕の僅かな間の操業しか出來なくなって來ているのでここ一週間位は大した漁獲は期待出來ず磐城七濱も漁場が南下したのと併せてここ暫くはサンマ水揚も一服狀態に入る形となった、月夜明けに後續のサンマ群の漁況が關心を惹いているわけである

ユニセフ物資
交付終る

寒さを迎えて待望のユニセフ物資が到着、市社會課では二十日午前九時から生活保護法による補助受給世帶の子供に對し男子學童服上下、二十二組、女子服、二十三着、メリヤス肌着四十五組の無料交付を行なった


ヘイさん
95
中島安男
マメちゃんにお菓子を買ってってあげよう
まあうれしい
おみやげ…あけてごらん
おいしそうだワー
おぢちゃんゆっくり喰べてネ
二人で仲良く喰べようや

煙草の賣上高低下
十月中　目標の六割六分

十月中に於ける平專賣公社管內のタバコ總賣上額は目標額五千万円に對し三千三百三十九万六千六百二一円で六割六分と云ったところ種目別では△朝日、三十万五千円△ピース、四十二万△光、三百五十六万三千円△憩、三百三十五万二千円△新生、千二百八十七万円△バット、七百三十八萬一千円△ききょう、二百十九萬五千円△みのり、三百二十九万二千円△桃山、六千九百円△日光、八千三百円で新生、バット等の大衆向き安タバコが賣上の王座を示めている、また十月中の總賣上額が九月中の總賣上額五千九百七万九千八百九十三円にくらべてグーンと低下している、賣上不振の原因は貨車不足によって安タバコが入荷しなかったこと、九月中の上半期が決算のため馬力をかけて小賣店の手持ちを充實させた反動現象等が擧げられている

貧故にぬすむ

內郷町白水字川平七六伏見某（九ッ）は去る十月中旬同地內門馬タカさん方から現金百廿円を盗んだ外數回に亘り現金五百六十円のこそ泥を働いていたことが判り十五日內郷町署へ

この少年は父が無く母は身体が弱いため稼ぎがなく小遣錢に不自由している處から盗みを働き出したもの

顏を毆り送檢

平市字立町一〇一大工相澤弘（一八）は去月二十九日夜八時半頃平市鎌田字小山下一一パン職→武田重郎（一八）さんに市內白銀町パチンコ屋で煙草を吸わせろと云いがかりをつけ四丁目マルトモ書店側に連れ出し一拳で顏面を毆打した事件で擧げられ二十日書類送檢

$\frac{1}{3}$は落し主に戻る
四月から置忘れ品千百件

平驛調べ

忘れっぽい人間は非常に多い、平驛で取扱った今年四月から十一月二十日現在迄の落物の統計は千百件で昨年同期と比較して二十九件の增加であるその內所有者に引渡されたもの三百七十件（昨年より五十三件增）警察署に渡されたもの六百三十五件（昨年より二十四件減）となっている、これらの落物は平驛待合室、平止り列車の棚に置き忘れた物品で最近は主人公の手元に戻って行くのが段々增える傾向で嬉しい限りだ、これらの種類は金錢をトップに雜品（特に辨當が多い）風呂敷包、帽子、洋傘、和傘、カバン等の順で、現金では昨年に比べて千百円六十錢の增の四万九千百四十八円八十錢、その內列車內三万二千百六十五円十五錢、驛構內一万六千九百十八円十五錢、その他六十五円五十錢でなかには一口一万円にも達するのがある、これらの落し物は一日平均四件の割合で發生している

戰後正直は一生の寶と云う格言はカビが生えそうで正直者がバカを見ているが、內郷町役場に浮浪者を願出てまんまと金をせしめるしたたか者が多く係員もすっかり疑心暗鬼を抱くようになり世相が人を惡くしているが、去る十一日ボロ〳〵ズボンの男が現れ宮城縣遠田郡富永村鮮魚行商中條一郎という者だと名乘り東京に米の闇買に出かけ一齊檢索に遭い水戸まではキップを買ったがそこから先は無一文なので飯も食わず夜晝徒歩でここまで來たが身体が疲れて歩けないから汽車賃三百円貸して貰いたい一週間內にお返しすると三百円借りて立去った、役場ではまたやられたかとあてにもせずにいたところ二十日朝葉書で二十二日にお禮かた〳〵參上するとの報に接し世にもまだ奇特な人があるものだと感心、疑心を挾んだことを後悔

している

× × ×

○…ここ數日來小名濱では人間の冷凍事件があったとの噂がぱっと擴って噂は噂を呼び大騒ぎ、それは茨城縣から來た女で日本冷藏の冷凍室に間違えて扉を締められすっかり凍って仕舞ったと云う內容…

○…これに吃驚したのは當の日本冷藏小名濱工場で電話の問合せもひんぴんとあり八島工場長もすっかりクサッて『新聞社の方で何んとか眞相を傳えて貰えまいか』とナキ盤　同工場はサンマの冷凍で一杯とても人間の入る余地はないそうですから眞相を物見高い灰皿黨に告げておきます

ラジオ

JOCP　JOHQ　【22日】　ローカル　郡山放送

前七・二五　あぜみち通信（二七）『收穫感謝祭を迎えるにあたって』縣農試場長鈴木美代七

後六・三〇　河童の月第十一夜　郡山放送劇團

[illegible]　名物　おまんぢゅう　平一丁目中央通

タカス靴店　ニユールツク　冬の靴　平市銀座通　電話1104番

平市五丁目　久　釜屋商店　電九・九九・九九九

洋品と家具は　なぜ丸三は賣れるか？
つねにお客様の利益をまもり
全商品最も安く賣るからです
＝冬物豐富に揃えております＝
植田町本町通　丸三　洋品店

★名入カレンダー★　★廣告マッチ★
新型　マッチケース　タバコケース　包裝紙
技術優秀・安價本位
白菊廣告社　平市田町19　TEL 54

D.P.と修理は　カメラの茂木で　平和通り　電1092

金物一般　マルヘイ　平市銀座電一一四

お茶一つ　あげた腰をば　またおろし
山登園　お電話次第迅速に配達　平市大町通り　電話五三〇番

◎入院設備あり
外科　產婦人科
內臟外科　肛門科
整形外科　性病科
放射線科
永井醫院　植田町本町通　電話四七番

江戸前壽し　割烹仕出し　一平
女中さん數名募集
小名濱町下町　電四五一

耳鼻咽喉科　高柳醫院　高柳博明　平驛前（電一一二番）

風味　やぶそば
別製　ちらしずし
江戸前　喰立　壽し
溫たかいむし壽し始めました
出前迅速　新扇屋　平市中央通り電886

本場自慢　牛豚肉
第一綠屋　平市二丁目　電五三九番
第二綠屋　平市中央通　電七九四番
夜も營業しておりますお電話下されば早速配達

メーセンインキ　專門店のおすすめする優良万年筆用インキ　55円
丸萬年筆店　平市中央通　電三九九

肛門のむず〳〵は『ぢ』か『ぎょう虫』（便虫）です
評判のよい專門藥の御使用をお奨めします
電話四四　平市銀座　あとう

肛門科　外科　上田醫院　平市南町（平局裏通）　電話一二九番